



令和2年10月27日

各位

会社名 株式会社ファルコホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 安田 忠史  
(コード番号: 4671 東証第一部)  
問合せ先 取締役管理室長 大西 規和  
(TEL. 075-257-8585)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和2年8月6日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1) 令和3年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,000 ～20,000	△100 ～300	△50 ～350	△100 ～200	△9.68 ～19.37
今回修正予想 (B)	20,400	700	780	340	32.87
増減額 (B - A)	400 ～1,400	400 ～800	430 ～830	140 ～440	13.50 ～42.55
増減率 (%)	102.0 ～107.4	— ～233.3	— ～222.9	— ～170.0	— ～169.7
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和2年3月期第2四半期)	21,933	682	724	275	25.71

#### 2. 業績予想の修正の理由

令和3年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による受託検体数および処方箋枚数の減少が緩やかになりつつあること、また臨床検査事業・調剤薬局事業の全社的な固定費の削減の取り組み等により、令和2年8月6日に公表いたしました連結業績予想を上回る見込みとなりましたので上記のとおり修正いたします。

臨床検査事業売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診患者数の減少を受けつつも7月以降は新型コロナウイルス感染症関連検査の受託等により緩やかに戻りつつあり、連結業績予想から約3%程度押し上げております。

調剤薬局事業売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響以降長期処方の傾向にあり、処方箋単価が上昇した一方で処方箋枚数が減少しておりましたが、その減少幅が鈍化しました。

営業利益および経常利益につきましては、臨床検査事業における検査再構築後の固定費削減が寄与したこと、調剤薬局事業における調剤原価の削減等により連結業績予想の上限を4億円程度上回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、新型コロナウイルス感染症対応による損失の追加計上等ありましたが、連結業績予想の上限を1.4億円程度上回る見込みとなりました。

なお、令和3年3月期通期の業績予想につきましては現在精査中であり、業績予想の修正が必要な場合には速やかに公表致します。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上